**資料３**

**■専門部会からの報告について**

**就労支援部会　報告書**

|  |
| --- |
| **■第１回就労支援部会** |
| 日時：令和５年６月２６日（月）　午前９時００分～午前１１時００分 |
| 会場：品川区役所　第２庁舎　５階　２５３会議室 |
| 概要：**１．地域自立支援協議会および就労支援部会について** |
| 　　　　　　品川区地域自立支援協議会の設置目的、協議会の検討事項、協議 |
| 　　　　　会の体系図（全体会と専門部会の関係）について説明を行った。 |
| 　　　　　　また、今年度のスケジュールについて確認をした。 |
|  |
| 　　　　**２．地域自立支援協議会等の報告について** |
| 　　　　　　令和４年度の地域自立支援協議会にて報告した内容および全体 |
| 　　　　　会にていただいたご意見について令和４年度地域自立支援協議会 |
| 　　　　　議事要旨をもとに共有した。 |
|  |
| 　　　　**３．超短時間就労促進事業の取組みについて** |
| 　　　　　　超短時間就労促進事業の取組みについて以下の説明があった。 |
| 　　　　　・事業の目的は長時間の就労が難しい障害者のために短時間就労 |
| 　　　　　　の機会を提供し多様な働き方を実現すること。 |
| 　　　　　・今年度の取組みとしては、東京大学の先端科学技術センター（先 |
| 　　　　　　端研）から事業スキームの提供を受け、区内の就労環境の分析や |
| 　　　　　　事業スキームの理解に向けた連絡会および研究会の実施を検討。 |
| 　　　　　・6月10日の先端研のシンポジウムにて、他自治体の先行事例に |
| 　　　　　　ついて学んだ。 |
| 　　　　　・6月23日の先端研のワークショップにて、障害者ができそうな |
| 　　　　　　仕事ありきではなく、企業の部署内の困りごとや取り組みたいこ |
| 　　　　　　とを挙げてもらい、一連の仕事を細かく切り分けて構造化し、対 |
| 　　　　　　象作業をピックアップすることが肝要であると学んだ。 |
| 　　　　　・超短時間就労は品川区では障害者向けの施策と捉えられているが |
| 　　　　　　障害に限らず様々な理由で働くことが困難な人に対して有効で |
| 　　　　　　あり、多様な働き方の一つであると思われる。 |
|  |
| 　　　　**４．ジョブサ品川区からのご案内について** |
| 　　　　　　ジョブサ品川区より「商店街における福祉社会、製品のイベント |
| 　　　　　に関するお願い」について説明があった。 |
| 　　　　　　ジョブサ品川区では立正大学と協定を締結し、社会学科が開設 |
| 　　　　　する科目「コミュニティー・サービス・ラーニング（ＣＳＬ）」を |
| 　　　　　履修する学生と地域活動、地域課題に対する取組みを行っている。 |
| 　　　　　　課題としては、製品の紹介が中心となってしまい、地域理解の促 |
| 　　　　　進や障害者の地域社会への参加の支援になかなか繋がりにくい。そ |
| 　　　　　こで以下の３点について協力依頼があった。 |
| 　　　　　・製品の提供 |
| 　　　　　・施設見学の受入れ |
| 　　　　　・イベントへの参加 |
|  |
| 　　　　**５．グループワーク** |
| 　　　　　　Aグループ（障害者就労支援センター・就労移行支援・自立訓練） |
| 　　　　　と、Bグループ（就労継続支援A型・B型）の２グループに分か |
| 　　　　　れて、課題検討を行った。 |
| *Aグループ：＜就労支援全般についての課題＞* |
| 　　　　　　 就労支援全般についての課題について事前調査を行い、各事業 |
| 　　　　　 所からの意見を一覧表にし、それを基に改めて意見交換を行った。 |
| 　　　　　　・利用者が様々な問題を抱えている場合、どこまでが就労移行の |
| 　　　　　　　支援と捉えられるのか。 |
| 　　　　　　　⇒就労移行支援ではあるが、生活面や家族の問題など相談をさ |
| 　　　　　　　　れる場合、どこまで入り込むのかについては、「年金や生保 |
| 　　　　　　　　など公的制度のサポートは行うが、それ以外は他機関を案内 |
| 　　　　　　　　する」「障害の根底にその問題があるのであればある程度は |
| 　　　　　　　　入り込む」などの意見が挙げられた。共通して、内容を問わ |
| ず一旦は相談を受けているが、どこまで入り込んで支援する |
| 　　　　　　　　のかについてはどの事業所も悩ましいといった状況であっ |
| 　　　　　　　　た。 |
| 　　　　　　・利用者に、企業がほしい人材とはどのような人材か、企業側が |
| 　　　　　　　直接説明してくれる機会がほしい。職場内環境が応募の段階で |
| 　　　　　　　分かると利用者は安心するのではないか。 |
| 　　　　　　　⇒どのように実習先企業とつながるかは、卒業者経由やハロー |
| 　　　　　　　　ワークの雇用指導官へ相談することが有効。またZoom等 |
| 　　　　　　　　を使い企業説明会などを行っている事業所もあった。 |
| 　　　　　　・新設される就労選択支援に関する学びの機会が必要では。 |
| 　　　　　　　⇒追って情報提供等を行っていくこととした。 |
|  |
| 　　　　　　*Bグループ：＜事業所で作成している製品等の紹介について＞* |
| 　　　　　　　事業所で作成している製品等の紹介について、事前調査を行い |
| 各事業所からの意見を一覧表にし、それを基に改めて意見交換 |
| 　　　　　　を行った。 |
| 　　　　　　・ECサイトを作り、パンフレットにQRコードを載せる。電子 |
| 　　　　　　　決済可能にすると購入意欲向上に繋がると思われる。今年度だ |
| 　　　　　　　けではなく、継続できるサイトが良い。 |
| 　　　　　　・各事業所のサイトではなく、品川区内事業所の販売サイトを |
| 　　　　　　　作る。 |
| 　　　　　　・事業所同士が共同で商品作成して、品川ブランドの商品を展開 |
| 　　　　　　　してみては。 |
| ・商店街のお店と共同で商品をつくり、店頭販売まで行う。 |
| 　　　　　　・インスタグラム等を利用して、将来的には全事業所統一のアカ |
| 　　　　　　　ウントを作り、情報発信できると良い。当面はハッシュタグを |
| 　　　　　　　共通にして、各事業所で更新しては。 |
| 　　　　　　・障害者の就労支援の拡充と工賃向上にむけたプロジェクトチー |
| 　　　　　　 ムを結成し、関係者が連携して取り組んではどうか。 |
| 　　　　　　　⇒令和５年７月より上記目的を掲げたプロジェクトチームが |
| 　　　　　　　　始動することとなった。 |
| 　　　　**６．その他（各事業所からの情報提供）** |
| 　　　　　・就労継続支援Ｂ型ガーデンより |
| 　　　　　　7/19に施設見学会を実施（福祉関係および利用者向け） |
| 　　　　　・ジョブサ品川区より |
| 　　　　　　東京医療保健大学と品川区医師会と協同で、障害児を持つ親向け |
| 　　　　　　に性教育のプロジェクトを立ち上げた。今後福祉関係者向けの勉 |
| 　　　　　　強会を実施する予定なので、決まったら改めてお伝えする。 |
| 　　　　　・品川宿より |
| 　　　　　　9/1に新たに就労継続支援Ｂ型を開設する予定。 |
| 　　　　　・すまいる・さぽーと品川より |
| 　　　　　　5/1に新たに就労継続支援Ｂ型を開設した。（川崎市） |
| 　　　　　・げんき品川より |
| 　　　　　　臨海斎場で５区（港区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区）の |
| 　　　　　　障害者施設（２０施設）が製作する自主製品を展示販売している。 |
|  |
| 　出席：部会長：区立発達障害者支援施設長 |
| 　　　　部会員：１．品川区立心身障害者福祉会館 |
| 　　　　　　　　２．品川宿 |
| 　　　　　　　　３．げんき品川 |
| 　　　　　　　　４．ジョブサ品川区 |
| 　　　　　　　　５．～キセキの杜～ジョブステーション大井町 |
| 　　　　　　　　６．LITALICOワークス五反田 |
| 　　　　　　　　７．就労移行支援事業所サンライト |
| 　　　　　　　　８．ミラトレ大井町 |
| 　　　　　　　　９．ディーキャリア品川サウスオフィス |
| 　　　　　　　　10．リファイン就労支援センター五反田 |
| 　　　　　　　　11．ニューロワークス五反田センター |
| 　　　　　　　　12．福祉工場しながわ（プチレーブ） |
| 　　　　　　　　13．すまいる・さぽーと品川 |
| 　　　　　　　　14．ガーデン |
| 　　　　　　　　15．かもめ第一工房 |
| 　　　　　　　　16．ふれあい作業所西品川 |
| 　　　　　　　　17．ふれあい作業所西大井 |
| 　　　　　　　　18．げんき品川 |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |